

島田学長のあいさつも載っております。

<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/about/10>

平成26年度の報告書も出来上がりました。

<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/COCseika.pdf>

特に皆様には、報告書をご覧いただきまして、ご関心をお持ちいただいた場合にはお問い合わせください。フォーメーションにつきましては自由な出入りが出来るとは限りませんが、可能な範囲で情報提供させていただきたく存じます。

一方、昨今話題となっていて本学でも鋭意推進しております、水素・燃料電池関連はと申しますと、NEDOでも次の様にまとめた資料を発表しております。

<http://www.nedo.go.jp/content/100567362.pdf>

* 37ページに山梨県の取り組み事例が記載されております。

NEDO支援を受けた本学の燃料電池ナノ材料研究センターでは、7年間を自動車向け燃料電池用の材料開発に傾注してまいりましたが、市場での応用面は広範囲にわたっているものですので、それぞれのアプリケーションでビジネスチャンスは異なるものと拝察しております。

当然かもしれませんが、どこで使うのかに寄りまして電池の環境と運転条件など異なることから、その設計仕様も変わってくるとともに、コスト重視割合からの割り切り設計も異なるわけです。しかし、なんと言いましても電池の普及には水素供給の側面が切っても切れませんので、そこにはビジネスチャンスが生まれるものと拝察しております。

つまり、一般に「補器」と呼ばれる電池の周辺部品等でありまして、配管・バルブなど電池を運転する補助部分になります。また、例えば電源系統にコンディショナー技術が使われますが、個人ユースのポータビリティが良いものの市場が今後醸成されるかもしれません。

皆様のご意見ご質問につきましては何時でも構いませんのでお待ちしております。今後ともよろしくお願い致します。

(文責：還田)



■ 大学情報・技術シーズが紹介されています!!

梨大倶楽部

http://www4.yamanashi.ac.jp/modules/nashidai_club/index.php

山梨中央銀行 山梨大学発"ビジネスチャンス"直行便！

<http://www.yamanashibank.co.jp/hojin/service/shien/765.html>



この内容をご覧になって関心がある研究者が見つかりましたら、
面談設定も可能ですので是非ご一報ください。



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学
社会連携・研究支援機構
社会連携・知財管理センター
新技術情報クラブ事務局

TEL:055-220-8759

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。